令和6年度 第3回

苫小牧市防犯のまちづくり懇話会開催結果

日 時	令和7年2月7日（金） 13:30～13:50
場 所	苫小牧市役所2階 21会議室
出席委員	山端委員長、松村副委員長、谷澤委員、在家委員、松平委員、佐藤委員、尾崎委員、中田委員
欠席委員	渡邊委員、藤委員、向井委員、柳田委員
市側出席	柴田市民生活部長、畑島市民生活課長、本田市民生活課長補佐、池淵市民生活課主査、福井担当主査
開催概要	<p>1 開会</p> <p>2 市民生活部長挨拶</p> <p>3 委員長挨拶</p> <p>4 協議事項</p> <p>(1) 第3次苫小牧市総合防犯計画（案）について (事務局より一括説明)</p> <p>5 その他</p> <p>次回懇話会予定月、次回日程のアンケート調査を説明</p> <p>市役所を語り家族構成などを聞くようなアポ電が増えている。</p> <p>6 協議要旨</p> <p>【松村副委員長】</p> <p>110番映像通報システムについて、よくわからないので教えてほしい。</p> <p>【市】</p> <p>新たに盛り込ませていただいたものなので、説明いたします。</p> <p>事故や事件を目撃した時に、110番通報をいたします。電話での通報なので口頭でのお話だけで状況を確認していきます。その話をもとに、警察側から通報者に対して映像などを送っていただけませんか？とお願いをされ</p>

ます。警察側から URL を通報者のスマートフォンに送られてきます。

よろしければこちらの URL に送り返してくださいというアクションが 1 点、それをもとに通報者が撮った映像や画像を送られてきた URL に送り返すという流れです。

これが、右上のほうに書いてあるんですけども、通信指令室担当というところにつながるの、基本的に北海道であれば札幌につながります。

札幌の通信指令室と通報者でのやり取りをした上で、指令室担当が状況を見て地元の警察署の方に、詳細な情報を詳しく入れることで、初動対応がより良くスムーズにいくということで、こういったものに、ぜひ、ご協力いただきたいというのが、令和 5 年の 4 月から本格的に警察の方で実施していると、今現在は全国展開されていると伺っております。

こういったものが始まって間もないことから、ぜひ広く知っていただければ、事故の大きくなるものを防いだり、被害が少なく済んだりということで、そういったものに繋がっていけばと思ひまして、これを新たに付け加えさせていただきました。

【松村副委員長】

すごくいい制度だと思うので、ぜひこれを始めるのにあたって、具体的にどうするんですかってわからない人もいますので、分かりやすく、誰もが操作しやすいようなシステムがあれば、なおありがたいなと思ひました。

【市】

今、ご提案をいただきましたけれども、市からするとまだ知られていないのではないかとというのが正直なところで、私たちも試験稼働から始まったという認識しかなかったの、いつから本稼働していたのかという情報がきちっと把握できていなかった、というのが現状にありますので、警察とも情報交換した中でこういったお話もできているので、今後こういったものが活用されると、どうしても中には操作できないという方もいると思うんですけども、多くの方がこういったものに協力でき

るのであれば、決してマイナスに働くことではないと思いますので、いろいろな場面を使ってこういったシステムがあるということ、市として周知をさせていただければなというふうに思っています。

【松村副委員長】

これはもう、スタートしていると思っていいですね。

【市】

はい、スタートしています。

【松村副委員長】

実は、民協で研修会がありまして、今回警察署の出村係長に講師をしていただいておりますんですけど、ぜひ、このことも広めていただきたいなと思ったものですから、

【市】

出村係長は、生活安全課でいらっしゃいますので、我々も日ごろからご指導をいただいております。よくご存じかと思っておりますので、ただこれが全国展開をしたのが令和5年ですので、各県警、都道府県で温度差はあるようです。

北海道の方は、ホームページなど拝見しても、まだ進んでいる都府県に比べると活用が盛んではないのかなという印象はありますが、委員先ほどおっしゃってたとおり、これがあると非常に警察の初動体制が早くなりますし、我々としても安全安心な生活につながることで、我々も協力をして警察を盛り上げていこうと思っておりますが、出村係長の方からもお願いしたいと思っております。

【山端委員長】

できるだけ多くの方に周知していただいて

【松村副委員長】

苫小牧が進んでるよって思われたい

【佐藤委員】

これって、自分からやるんじゃなくて、依頼された場合にするんです

ね。

【市】

そうなんです。それで 110 番につながるわけではないので、まず 110 番して警察の方で映像は送れますか？スマホで映像を送れますか？というやり取りの後で行うということです。

【中田委員】

現在、北海道の中では年間どれくらいの件数がありますか。

【市】

先ほど、北海道ではあんまりと申し上げましたが、もともとこの制度自体が、健常者ではなくて、むしろ 110 番で声が出せないですとか、そういう方を対象にスタートしたという経過があります。北海道の方は残念ながらそういった意味では先ほども申し上げましたが、件数的には進んでいる都府県からみますと、ちょっと寂しい件数だと聞いております。

今手元に詳しい件数がなく申し訳ありません。状況としてはそんなところでは。

【山端委員長】

第 3 次苫小牧市総合防犯計画（案）を承認することによろしいですか。

【各委員】

承認の声

【山端委員長】

それでは、第 3 次苫小牧市総合防犯計画（案）を承認することといたします。

【市】

今後の予定について、第 3 次苫小牧市総合防犯計画（案）は、2 月に行われます市議会において計画案としてお示しさせていただきまして、3 月の完成を予定しております。

次回の懇話会に関しましては、スケジュール的にははっきり決めたわけではございませんが、7月～8月にかけての期間で調整をさせていただきたいというふうに考えております。

また皆様の方には、日程のアンケートを事前にさせていただいて日程の調整をさせていただきたいので、その際にはよろしく願いいたします。

先ほど部長のお話の中でもありました、最近市の職員を語っているいろいろと情報を引き出す電話が増えておりまして、昨年の秋ごろからこういうケースが増えてきております。

パターンとしてはいくつかあるんですけども、最近多いのは、消防本部の職員を語って家族構成を聞き出すパターンが増えております。

その他にも、市の職員であれば保険年金課の職員を語るもの、水道職員を語るもの、危機管理室の職員を語るものということで、市の職員でもいろんな部門の職員を語って何か家族情報を引き出したり、近隣に身内がいるかないかとか、普段どういった日にいるのかとか、そういった情報を探ってですね犯罪の温床になりかねない情報の聞き出しが最近増えているということ、その他にも総務省の名をかたって、光ケーブルの話ですとか、電話回線の話をしてですねいろんな情報とか、お金の情報の引き出しをするという手口もまだ続いておりますので、皆様方も身の回りでそういうお話があれば、ぜひ市の方に情報の提供をいただければ、被害が拡散しないような形で速やかな情報発信をしていきたいと思っておりますので、そういったところにもご協力いただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。